

# 7 2023 July







33°C

Track  
OKAYAMA

Driver  
T.Onohara/H.Haein/Y.Kitamura/Y.Nakamuta

## 4期生初のフォーミュラトレーニング

3期生の小野原とファン。4期生の北村と中牟田の計4名がトレーニングに参加しました。この日は3期生と4期生の合同トレーニングとして実施しました。

3期生たちは前回のトレーニングから2か月ほど間が空きました。4期生たちはこれが初めてのフォーミュラトレーニングとなります。まずは脱出訓練からスタート。3期生の小野原とファンは慣れた手つきで素早く脱出していきます。続いて4期生の北村と中牟田はベルトを外すのに苦労し時間が掛かってしまいました。脱出訓練を終えて、いよいよ走行に移ります。まずは3期生の2人からスタートしていきます。2か月間空いたことで、前回よりも背や腕が伸び、思うような操作ができない問題が発生しました。特に小野原は大きく成長したことで、自分のシートでは全く操作できないほどでした。すぐに高身長用のシートに変更したところ問題は解消し、これまで通り走れるようになりました。4期生の北村と中牟田は、フォーミュラ特有のドグミッションに慣れるところから始めました。シフトミスは多いものの、少しずつ感覚を掴んでいきました。

午後からはコースを周回するサーキットトレーニングに移ります。3期生の小野原とファンはしっかりタイムを刻んでいきます。4期生は、初めて走るコースレイアウトに戸惑いながらも周回を重ねていきました。最後はこの日の纏めを行う5分のタイム計測がスタート。ここで光を見せたのは、この日初めてフォーミュラに乗る4期生の北村でした。タイムでは3期生に及ばないものの、誰よりもシフトミスが少なく、確実な操作を披露しました。トップタイムはファン。2番手は小野原。3番手に北村。4番手に中牟田というタイム順でこの日のトレーニングを終えました。







30°C

Track  
OKAYAMA

Driver  
Yuma Sugita

## 3期生の柱本が初の岡山へ

3期生の柱本翔夢伊（12）が初の岡山トレーニングに参加しました。この日の天候は下り坂で午後から雨の予報でした。

1セッション目がスタートし、初の岡山国際サーキットへコースインしていきました。この時点ではまだ雨は降っておらず、ドライコンディションでした。しかし3周を終えたところで、コース上にストップ車両が発生したため赤旗中断となります。中断中に雨雲がサーキットに掛かり始め、一瞬にしてコース上はフルウェットコンディションへと変わりました。レインタイヤに履き替えて、再度コースへ戻っていきました。雨で滑りやすくなったコンディションの中、柱本はミスなく着実にマイレージを稼いでいきました。無事に最初のセッションを走り切り、次の走行に向けて解析に入りました。2セッション目は、雨量はわずかに減ったもののウェットコンディションのまま開始されました。柱本は自分のペースで徐々にペースを上げていきました。この走行枠を終えて、スクールの先輩である三浦からウェットラインの走らせ方のレクチャーを受けて3セッション目に挑みました。一度は止んだ雨もまた降り始め、なかなか路面を乾かしてもらえない状況の中、走行がスタートしました。自らの改善点を修正していき、2セッション目よりも速いラップタイムをマークしました。そして最後の4セッション目がスタート。雨も止み、時間が進むにつれ少しずつ路面の水量も減っていきました。柱本は、最後の数周で自己ベストタイムを更新し続け、攻めた走りができるまで持てることができました。

一度もスピンやコースオフをすることなく、この日のプログラムを終え幸先の良い岡国キャリアをスタートさせました。





## 杉田がフランスのオーディションに参加！

2期生の杉田悠真（14）が、フランスのドライバーズオーディション“FEED RACING VOLANT 2023”へ参加しました。

7月17日～21日にフランス・マニクールで開催された、このオーディションは、有望な若手ドライバー発掘のため毎年フランスで開催されています。今年も世界から若手ドライバーたちが集結し、来期のフランスF4参戦のスカラシップを懸けた戦いが幕を開けました。

まずは発進やブレーキングなど基本的な操作の確認が行われました。杉田は現地の車両にやや苦戦するも徐々に慣れていき前半を終えました。そして中盤からは実際にサーキットを走行し、タイム計測に入ります。ここでタイムが遅いとオーディション通過は厳しくなるため、最終日までに好タイムを狙っていく必要があります。杉田はヨーロッパ特有のブレーキの利き方に苦戦するも、ドライビングポジションの見直しを図り、講師陣のアドバイス通りにドライビングをアジャストしていきしました。

そしてオーディション最終日。この5日間学んだことをすべて発揮しなければなりません。初めて履くニュータイヤでタイムアタックへと出ていきました。杉田はグループでトップタイム。全体では4番手のタイムを記録し、この予選オーディションの通過を決めました。

次回は8月末に再びフランスへ飛び、第2選考オーディションへ挑みます。





## Yuma - SUGITA (14)

初めて海外でのマシンやコースを経験した杉田。スクール車両や国内のフォーミュラマシンとは異なるフィーリングに少し戸惑いを感じたようでしたが、最後はしっかり合わせてきました。まだまだ改善できる部分があるので、次回のオーディションまでに準備していかなければなりません。



## Kamui - HASHIRAMOTO (12)

初の岡山トレーニングを良い形で終えた柱本。1日4セッションを走り切り、フィジカル面も問題ないことを証明しました。次回はドライコンディションでのハイスピード域でのマシンコントロールを習得したいところです。





# DRIVERS PERFORMANCE

## Haein - HWANG (11) Best 43.764

2か月ぶりのフォーミュラに最初は苦戦していた様子でしたが、徐々に感覚を取り戻し、最後のタイムアタックではトップタイムを記録しました。身体も大きくなり始め、判断能力も少し高くなってきた印象を受けました。



## Tomo - ONOHARA (11) Best 44.255

急激に背が伸びたことにより、走り出しはまともに走れないほど体型の変化の影響を受けてしまった小野原。シートを高身長用に変更し、本来の調子を取り戻しました。途中まではトップタイムを出すなど好調だっただけに最後のタイムアタックでしっかり纏められるようにしたいところです。



## Yushi - KITAMURA (11) Best 47.652

念願のフォーミュラマシンをドライブした北村。走り出しは、誰よりも慎重でしたが、自分のペースで徐々に感覚を掴み始めると、最後の走行では大きく飛躍し、誰よりもシフト操作が上手くできるようになりました。3期生たちも侮れない存在です。



## Yuto - NAKAMUTA (12) Best 56.260

前回のMT車両トレーニングでは好調だった中牟田でしたが、フォーミュラではシフト操作に苦戦を強いられました。この日は最後までギヤシフトのコツを掴むことができず終わってしまいました。次回のトレーニングまで時間があるので、彼がどれだけ努力して自らの課題を克服してくるかが楽しみです。





## 【トレーニングを終えて】

今月は”2期生の杉田のフランスへの挑戦“と”4期生のフォーミュラデビュー“がありました。

4期生たちの初めてフォーミュラに乗る姿を見て、1年半前の杉田の初フォーミュラの瞬間を思い出しました。

想像以上に苦戦し、その日はどうなるかと思いましたが、トレーニングを重ねるごとに成長し今の杉田があります。

おそらく4期生の2人も、この1年で私たちの想像を超えるくらいの成長を見せてくれると思います。

レベルの高い3期生たちと合同で行うことで、競い合い切磋琢磨してお互いを高め合っていってほしいです。

Junior Drive講師 白石勇樹





Junior Drive  
Shiraishi Racing School

SPORTS KART



舞洲スポーツアイランド

Tommy kaira

GARAGE38  
Luce ed ombra

FTK corporation



PAINT BY  
O·N·O.inc



Junior Drive  
Shiraishi Racing School

